



医療・社会保険庁における本邦研修報告会終了後の集合写真

★SINRAI PROJECT★SINRAI PROJECT★SINRAI PROJECT★SINRAI PROJECT★SINRAI PROJECT★

SINRAI PROJECT

JICA 社会保険実施 能力強化プロジェクト

ニュースター第 12 号



主な内容 (次項)

プロジェクト外活動の一環として本邦研修が実施されました。



日本年金機構での研修

5月13日～26日の日程で第二回本邦研修が実施されました。労働・社会保障省、医療・社会保険庁、医

療・社会保険事務所、人口社会保障研究所から合計 20 名が参加し、厚生労働省、国立社会保障・人口問題研究所、日本年金機構、慶應義塾大学経済学部、ニッセイ基礎研究所、静岡県立大学及び中東遠総合医療センターにおいて、内容の濃い充実した研修を実施しました。特

に、5月17日午後からは、二つのグループ（年金数理グループと業務改善・研

修開発グループ）に分かれて行動し、研修参加者のニーズに応じたより詳しい内容の研修を実施しました。厚生労働省においては、大鶴官房国際課長と鈴木年金局長を表敬訪問し、モンゴルと日本の年金制度と年金実務について、お互いに学び

合う重要性を確認しました。また、日本年金機構では、



富士年金事務所の訪問

水島理事長と清水副理事長を表敬訪問したほか、研修の企画から実施までの具体的な流れについての他、お客様

サービス向上のための取組みとして、お客様相談体制、CS 推進のための取組み、お客様満足度アンケートについて説明が行われました。東京以外にも、静岡県では富士年金事務所や静岡事務センターの見学を行ったほか、静岡県立大学にて、日本の健康保険、介護保険、アカウントビリティの重



静岡県立大学での講義

要性や、ドイツの年金制度改革についての講義を受けました。

また、モンゴル帰国後に、本邦研修の参加者による報告会を、医療・社会保険庁にて実施しました。研修参加者、多くの関係者の前で、日本で学んだことをモンゴルで今後どのように活用するかにつき発表し、出席者と議論をしました。



帰国後報告会の様子



連載「草原の国の社会保障」

今回は、「国民皆年金」についての記事です。
(写真：静岡県浮月楼の庭園)



障害平等研修の実施

JICA「ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト」サポートを得て、医療・社会保険庁において障害平等研修を開催しました。(写真：研修中、班でディスカッションをしている様子)

草原の国の社会保障（第 12 話） 「国民皆年金」

皆さまこんにちは。今回は、日本の年金制度が、日本に住むすべての者を対象とした所得保障制度としてのことについて、その理由や背景をお伝えします。

年金制度は「企業や国などの組織に雇われて働く従業員」を中心として発展してきました。ところが、日本では、農民や自営業者、それだけでなく学生や無職の者といった所得のない者まで対象とした所得保障制度を創設しています。

誰もが高齢になります。そして、誰もが、病気やケガ、若くして死亡するリスクがありますよね。こうしたリスクによる収入の減少は、働き方に関わらず、誰にも起き得るのです。こうしたリスクに遭遇し、収入が減少した者に対し、皆で支え合う仕組みとして、働き方に関わらず、また、国籍にかかわらず、すべての住民を対象とした基礎年金制度を設けました。その理由は、病気やケガ、若くして死亡することによる収入の減少を日本に住む皆で支え合うことに政策の主眼を置いているからです。

日本の社会保障制度は、特定の誰かのために



あるのではなく、日本に住んでいる方々すべての者のために存在しています。このため、日本に住んでいるすべての方々に対し、保険料を支払う義務を課している一方で、リスクが生じた場合は給付を受ける権利があるという関係が形成されています。

国が創設する社会保障政策は、その国が、どのような国としたいのかを表すものです。モンゴル国に合

った社会保障政策ができるよう、私たちのプロジェクトがお手伝いできれば、幸いです。

チーフアドバイザー 山下 護

SINRAI プロジェクトの公式ロゴが決定しました！

SINRAI プロジェクトの公式ロゴ募集を行った結果、たくさんの応募がありましたこと、改めて感謝を申し上げます。厳正な審査の結果、I.ニンジンさんによって作成されたロゴがめでたく選ばれました。



ゲルや草原などモンゴルの象徴、富士山という日本の象徴だけでなく、重ねあう手によって社会保障に最も重要である「信頼」も表現されている素晴らしい公式ロゴとなりました。また、5月30日には、このロゴ作成者であるニンジンさんへ表彰状を授与しました。今後、同ロゴをプロジェクト活動の広報に役立てていきたいと思っております。（写真：サラン医療・社会保険庁副長官から表彰状を受け取るニンジンさんの様子）



医療・社会保険庁において DET(障害平等)研修を実施しました。

5月23日、医療・社会保険庁において、庁職員、医療・社会保険事務所の職員を対象に、障害平等研修を実施しました。本研修は、モンゴルで実施されている JICA「ウランバートル市におけ

る障害者の社会参加促進プロジェクト」の活動の一環で実施されているものです。障害平等研修は、障害当事者がファシリテーターとなって進める研修であり、様々なワークを通して、障害とはいったい何なのか、どこに存在するのかということを考えることから始まり、自分たちは何を变えれば、みんなにとってより良い社会になるのかについて考えました。

（↓写真：ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクトの照屋専門家と研修参加者との議論の様子）



参加者は各班に分かれ、ファシリテーターの話聞きながら活発な議論を交わし、ワークに取り組みました。参加者からは、多くの気づきが得られ、充実した研修だった、また、庁だけでなく、ほかの医療・社会保険事務所においても実施すべき研修であるとの感想が寄せられました。

今回の研修を実施するにあたり、協力いただきました皆様に感謝を申し上げます。

（↓写真：「障害」はどこに存在するのかについて班で意見交換をしている様子）



SINRAI プロジェクト・オフィス住所・連絡先

住所：Khuulichid Street, Chingeltei District, Ulaanbaatar 15160, モンゴル医療・社会保険庁内 6階 602号室
電話(FAX)番号：(+976)-11-325125

公式 Facebook アカウント：Жайка Нийгмийн Даатгалын төсөл

ニュースレターのバックナンバーはこちらから <http://www.jica.go.jp/project/mongolia/014/newsletter/index.html>

